

富山高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	環日本海諸国語表現 I (韓国語)	
科目基礎情報							
科目番号	0138			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	間違いやすい韓国語表現100 (白帝社)						
担当教員	天坂 仁美						
到達目標							
今まで学習した基礎文法、特に不規則動詞の語尾変化を活用する。 各課での表現を利用して基本作文と応用作文の練習をする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	予定授業分の韓国語作文を準備して いて作文の確認を行い、類義表現などの提案をする。			予定授業分の韓国語作文を準備して いて作文の確認を行う。		予定授業分の韓国語作文を準備して ない。	
評価項目2	韓国語での初級文法説明が理解出 来る。			韓国語での初級文法説明が殆ど理 解出来る。		韓国語での初級文法説明が理解出 来ない。	
評価項目3	授業中に韓国語で応用文章の発表 が積極的に出来る。			授業中に韓国語で応用文章の発表 が出来る。		授業中に韓国語で応用文章の発表 が出来ない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 1							
教育方法等							
概要	(1)目標 初級文法の整理と中級文法能力を養う。日本語と韓国語の文法の差異を確認・理解し、韓国語表現の応用力を深める。 (2)概要 教科書を中心に文法の整理を行うが、実践的に作文を行うことにより、「話す・読む」に加えて「書く」の柱を完成さ せる。 事前に課題を作成し授業で添削する作業の反復が基本のため、事前に課題を作成して授業に臨む態度が必要である。						
授業の進め方・方法	教員単独による講義、演習						
注意点	評価が60点に満たない者は、願出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められ た者にあては、その評価を60点とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 第1課		(1) シラバスの説明 (2) 授業進行及び課題作成の説明		
		2週	第1課		解説・発表・添削 文末形式		
		3週	第2課		解説・発表・添削 連体形		
		4週	第2課		解説・発表・添削 連体形		
		5週	第3課		解説・発表・添削 否定		
		6週	第3課		解説・発表・添削 否定		
		7週	まとめ		復習と確認		
		8週	中間試験		1週から7週までの講義内容を確認する		
	2ndQ	9週	第4課		解説・発表・添削 可能・不可能		
		10週	第4課		解説・発表・添削 可能・不可能		
		11週	第5課		解説・発表・添削 尊敬		
		12週	第5課		解説・発表・添削 尊敬		
		13週	第5課		解説・発表・添削 尊敬		
		14週	まとめ		復習と確認		
		15週	期末試験		9週から14週までの講義内容を確認する		
		16週	成績確認		(1)期末試験の成績確認 (2)授業評価アンケートの実施		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題・授業準備	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト	合計

総合評価割合	70	10	0	0	0	20	100
基礎的能力	70	10	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0